

特定非営利活動法人 モノづくり応援隊in大田区

**活動の記録 第13報
2017年4月～2018年3月**

私たちの理念は
大田区モノづくり企業及び関係者
との信頼に基づく連携により
互の発展に貢献することです

13年目の活動をご一読ください！



城南電気精器株式会社

代表者：永井 正義

所在地：本社 東京都大田区大森西2-2-16
鶴見工場 横浜市鶴見区鶴見中央3-4-15

資本金：5,000万円

設立：2007年12月(会社分割による設立登記)
(創業1949年2月)

社員数：11名

URL：http://www.jds-tb.co.jp/index.html

事業内容：

- ・工業用端子台の製造・販売
- ・電子部品販売(ヒートシンク、LED照明、ケーブルASSY等)
- ・空気清浄器「サリール」の販売

経営理念：

我々は、豊かな創造力と高い技術力を培い、製造業の原点としての技術の強化に取り組み、存在感のある企業として成長してまいります。

強み：

- ・日立グループとの長年の取引実績
- ・内職活用による低コスト生産
- ・ジョイントベンチャーによる幅広い製品ラインナップ

経営支援の内容

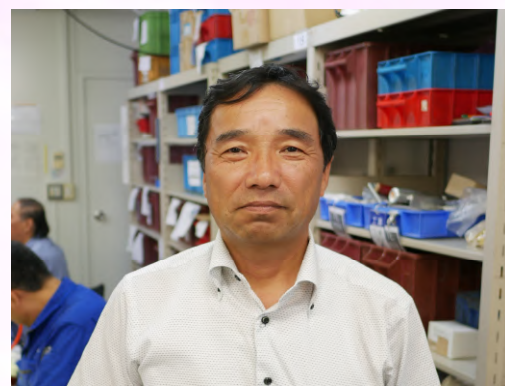
TN経営戦略策定プロセス(TNMS)を使い、事業環境を俯瞰し、既存事業の事業環境の見直しや、社内資源や他社連携による新規事業の立案を永井社長と一緒に考え、中長期戦略を検討しました。

また、ホームページの作成支援機関の紹介や補助金活用情報を提供することで、ホームページの更新や補助金申請を永井社長ご自身で行っていただけるようになりました。

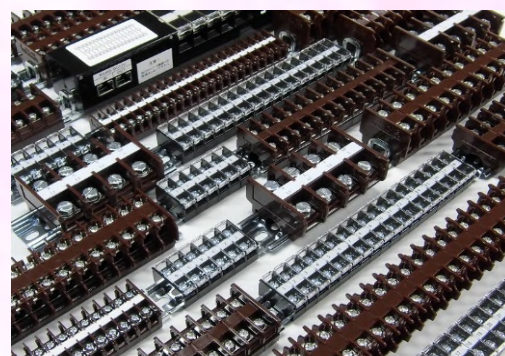
永井社長のお言葉

ものづくり応援隊様には、TNMSにおいて自社の強みや弱みの把握を認識しビジネス戦略における提案やご支援を頂きました。特に端子台事業以外での新規ビジネス戦略においては、各種案件に対し進言を頂き参考にさせていただきました。自社ホームページはPIOのデザイン工房の利用というアドバイスを頂き作成しております。また実現には至りませんでしたが、工場移転のアドバイスもいただきました。

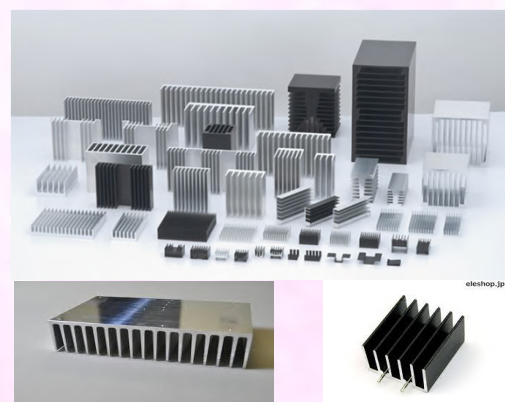
今後とも大田区内の企業の動向や情報提供または補助金の活用について色々と支援をしていただけたら幸甚です。



代表取締役 永井 正義



工業用端子台



各種ヒートシンク



空気清浄器
「サリール KO-206」

二松電気株式会社

代表者：松木 昌一

所在地：東京都大田区雪谷大塚町7-12

資本金：2,000万円

設立：1967年3月

URL：<http://www.nisho.co.jp/>

事業内容：

- ・沖電線、STANDEX、LAPIS、ROHMなどの特約店、代理店として半導体、スイッチ、電子部品、ケーブルなどを販売
- ・圧接・圧着・半田等
- ・試作・小LOTのハーネス、基板実装、板金から量産まで対応

経営理念：

役に立ち信頼され成長する企業

きっかけと当初の経営課題

2月のおおた工業フェアにて、松木部長が応援隊ブースを訪問頂き、課題をお持ちだということがきっかけで訪問となった。当初の経営課題は、自社オリジナルブランド楽器用ケーブルの販売、そして本業の製品の販路開拓、新規協力工場との連携となっていた。

経営戦略策定の支援

平成29年4月～11月にTNMSによる経営戦略の策定支援を行った。

第1回：経営課題の整理

第2回：経営課題の解決案検討

第3回：経営戦略の策定

第4回：マーケティング戦略の策定

第5回：マーケティング戦略の実行計画

第6回：業務プロセス戦略の策定

第7回：人的資源戦略の策定



ハーネス



ハーネス



端子台



自社ブランド 音楽ケーブル

創業68年 確かな技術と信頼の実績

ムソー工業株式会社

代表者 : 尾針 徹治
 所在地 : 東京都大田区京浜島 2-13-9
 資本金 : 1000万円
 創業 : 1950年5月 東京都品川区にて
 武蔵工業研究所として創業し、
 1963年8月にムソー工業(株)に改組
 社員数 : 10名
 U R L : <http://musokogyo.co.jp/>
 事業内容 : 大学や民間の研究機関の総合ものづくり
 パートナーとして、試験片加工や
 試験治具、実験装置の設計製作
 取扱製品 : 複雑な形状、樹脂加工、勤続とプラスチック
 等の複合素材など幅広い試験片に対応



尾針 徹治 社長



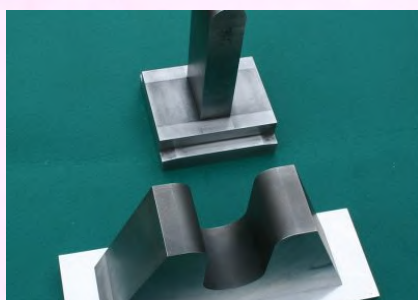
〔引張試験片〕



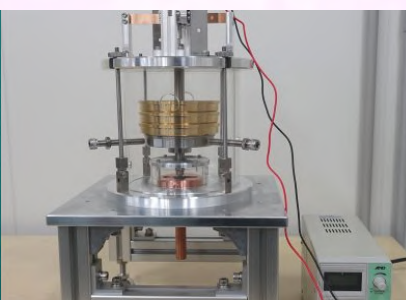
〔平面曲げ試験片〕



〔打抜きせん断試験治具〕



〔三点曲げ試験治具〕



〔フライホイール型摩擦試験機〕



〔下町ボブスレのーランナー加工〕

モノづくり応援隊の支援内容

NPOとして、支援先としては先代社長からの長いお付き合いですが、平成29年に事業承継し、尾針徹治氏が代表取締役役に就任されました。これを契機に現在、労働環境整備や人材育成、人事評価など様々な改革に取り組まれています。

NPOとしては新社長が進められている改革の支援として、経営戦略策定支援、マーケティングや業務プロセス、人的資源財、財務などの各事業戦略策定支援、就業規則などの諸規定の改定支援などに取り組んでいます。

モノづくり応援隊in大田区の活動について尾針社長から一言

代表に就任して様々な改革を進める中、経営戦略や事業戦略の策定から就業規則などの諸規定の改定まで、本当に幅広い支援をしていただき、非常に助かっています。

ものづくりがんばり隊

グループ設立の目的

「ものづくりがんばり隊」は、近年は事業所数の減少が著しい大田区の製造業を活性化させ、複数の事業所や各種団体等が連携して活動する事で、個社の事業も活性化することを目的として活動を開始しました。

活動の履歴

平成28年6月決起総会開催
 平成28年12月総会開催
 平成29年1月臨時総会開催（役員改選）
 毎月1回定例会を開催



定例会の様子

グループの組織

代表者：株式会社スター精工工業社 代表取締役 星野 真也

所在地：大田区本羽田2-12-1テクノWING大田509号

会員企業：7社

（全て製造業で、大田区3社、品川区・板橋区・世田谷区各1社、鎌倉市1社）

グループの活動実績

①補助制度への申請

平成29年度は主に、事業化を具体化するきっかけとして、グループや個社で各種補助金への申請に取り組みました。その結果、「平成29年度 新事業連携・新産業クラスター形成助成（大田区）」などに採択されました。

②研修視察旅行

平成29年11月に、採択された「平成29年度 新事業連携・新産業クラスター形成助成（大田区）」の事業として、以下の研修視察旅行を実施しました。

日時・場所	テーマ	講師	当日の様子
平成29年11月24日 13:00～15:30 静岡大学イノベーション 社会連携推進機構	「静岡大学の産学連携活動 のご紹介」	国立大学法人 静岡大学 イノベーション社会連携推進機構 産学連携推進部門コーディネータ 特任教授 鈴木 俊充 様	
	「中小企業の戦略的連携」 ～匠の技術を連携して 成長産業に挑む	橋本エンジニアリング(株) 代表取締役社長 橋本 裕司 様	
平成29年 11月24日 夜間 11月25日 午前 ホテルトラスティ名古屋	「人との上手い別れ方」	川崎パートナーズ法律事務所 弁護士 大崎 克之 様	

モノづくり応援隊in大田区の活動について一言

会の名称も、応援隊さんをもじって命名したほど、各社の個社支援を通して長年お世話になっています。がんばり隊では毎月の定例会や各種補助金申請、研修旅行の企画など、様々な支援を頂いており、感謝しています。

経営支援プロジェクト

大田区の象徴でもあるモノづくり中小企業を顧客の主体とした経営改革支援活動は、2005年7月に発足したモノづくり応援隊 in 大田区の中核事業です。

個別企業の有料支援実施

- ・2017年4月1日～2018年3月31日、
- ・会員参加者11名、支援件数合計11件(1契約で複数内容支援あり)

【支援内容】

- ・生産管理システム(2件)
- ・生産管理システム導入の業務改革支援(1件)
- ・次世代経営者育成、売上アップ戦略策定支援(1件)
- ・補助金申請書の作成支援(3件)
ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金申請支援、
経営力向上計画申請支援、
東京都「中小企業受注型競争力強化支援」補助事業申請支援、
おおたの観光にぎわい創出事業補助金
- ・事業承継、収支管理等に関する支援(1件)
- ・経営改善訪問支援(1件)
- ・異業種交流グループ情報交換、事業化策定支援(1件)
- ・ISO14001 2015版への移行審査の支援(1件)
- ・地域未来牽引企業申請支援(1件)、
環境コミュニケーション大賞(1件)、
おおたの工匠・技術技能承継(1件)、
環境人づくり企業大賞2017(1件)

個別企業の公的支援制度の活用支援

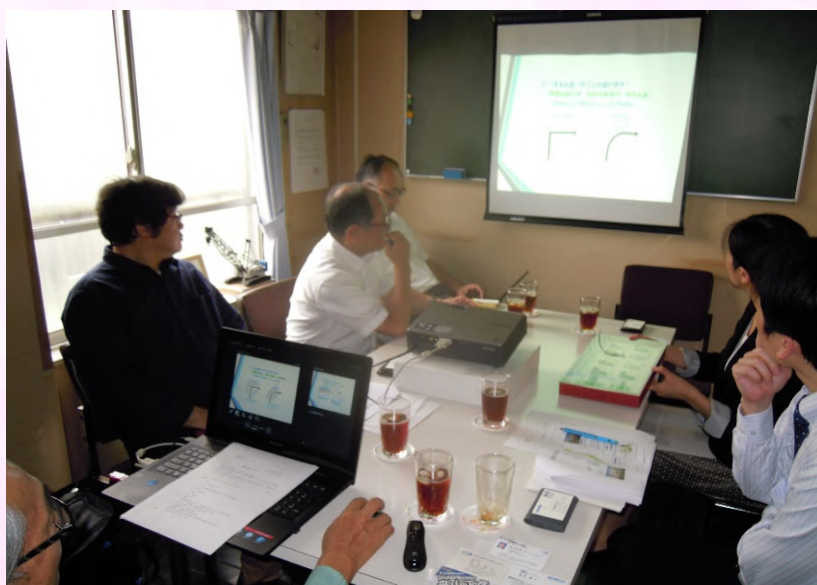
- ・2017年4月1日～2018年3月31日、
- ・会員参加者10名、支援件数合計11件

【公的支援の活用】

- ・東京工業団体連合会の専門家派遣事業を活用した支援(6件)
- ・大田区産業振興協会のビジネスサポートを活用した支援(5件)

【支援内容】

- ・経営改善訪問支援(4件)
経営課題を抽出して経営戦略策定と事業計画策定など
- ・補助金申請書の作成支援(3件)
ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金など
- ・経営力向上計画申請書の作成支援(1件)
- ・ISO14001 2015版への移行審査の支援(1件)
- ・ホームページ更新の支援(1件)



おおたモノづくり連携の会

- 会創設の主旨:地域のモノづくり企業の経営者が中心となって企業連携や地域間連携を実現し、会員企業と地域社会の発展に貢献する。

(応援隊設立10周年記念事業に於いて、関係者から寄せられたご意見をもとに本会を創設し、事務局業務を通じた支援の場と位置付け。)

- 会の発足:平成28年10月20日
- 会員数:創設時(12社)、平成30年3月末時点(21社)
- 主な活動:

・第1回総会・セミナー

開催日時:平成29年12月19日(水)

18:30~20:00

開催場所:こらぼ大森 2階 会議室

- ・テーマ1:環境経営活動のご紹介
「サスポンとまわる君」

講師:トキワ精機株式会社

代表取締役社長 木村 洋一 様

- ・テーマ2:共同配送の状況報告

講師:田中 憲之 会員



・第2回セミナー

開催日時:平成30年2月14日(水)

18:30~20:00

開催場所:こらぼ大森 2階 会議室

- ・テーマ1:油断大敵! 情報セキュリティの脅威からあなたの会社を守ろう!

講師:風間 雅宏 会員

- ・テーマ2:補正予算国会通過。補助金申請待ったなし

講師:村上 出 会員

・第3回セミナー

開催日時:平成30年7月5日(水)16:00~18:00

開催場所:こらぼ大森 2階 ミーティングルーム

- ・テーマ1:会員企業様からのプレゼン

(1)フィーサ株式会社 代表取締役 社長 斎藤 進 様

(2)城南電機精器株式会社 代表取締役 永井 正義 様

- ・テーマ2:セミナー「中小企業向けEDIについて」

講師:村上 出 会員

・第4回セミナー

開催日時:平成30年9月6日(木)18:30~20:00

開催場所:こらぼ大森 2階 ミーティングルーム

- ・テーマ1:会員企業様からのプレゼン

(1)二松電気株式会社 営業部部长 松木 賢太郎 様

(2)小松ばね工業株式会社 代表取締役社長 小松 万希子 様

- ・テーマ2:セミナー「モノづくり中小企業のIoTその4」

講師:西川 仁 会員

「中小企業のIoTプロジェクト」では、大田工業フェアでプラレールに模したデモを展示し、ご来場の企業経営者の皆様にも、“IoT”について解り易く、ご理解頂けました。

あなたの工場を見える化しませんか？

プラレールデモは今話題のIoTを単純にしたものです

IoT : Internet of Things

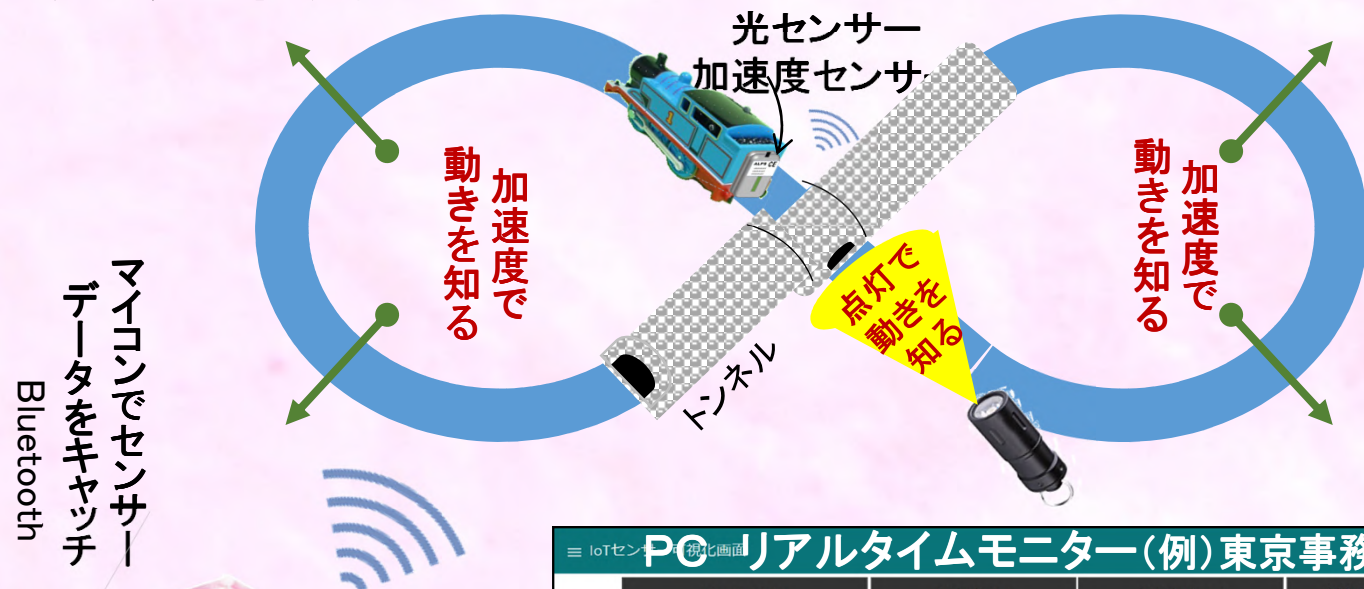
僕は、あなたの
工場の機械だよ

昭和の古い機械でも、安く
IoT(センサーによる工場機械の
動きの見える化)を試せます



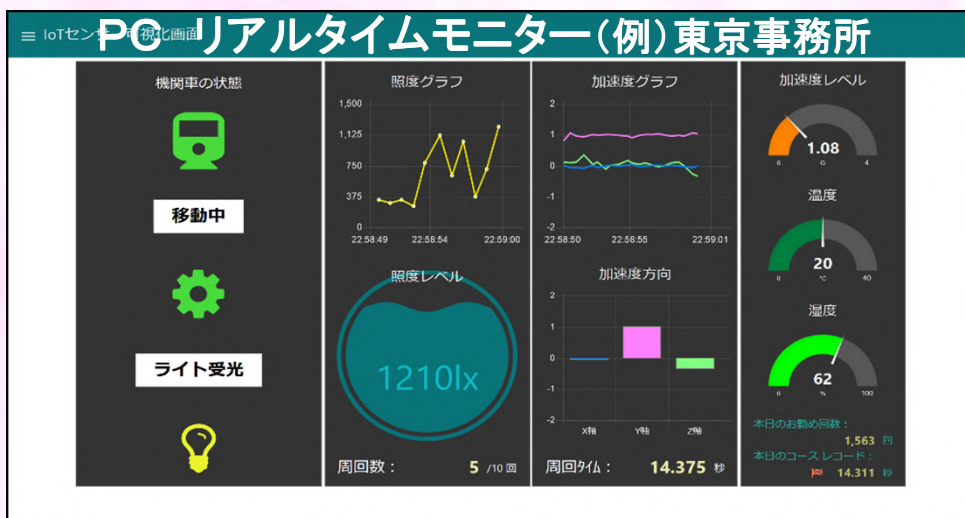
プラレール・機関車+センサー
(例)山形工場

■ データを集める



マイコンでセンサー
データをキャッチ
Bluetooth
Raspberry Pi 3

マイコンデータを
PCとネットで共有
WiFi

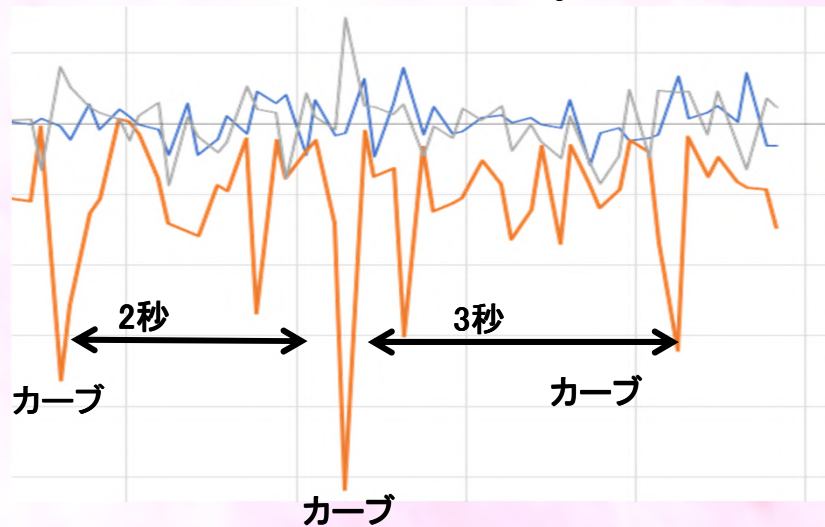


■ データを活用する

デモの機関車の動きの生データ
加速度センサー(xyz軸)

《センサーからの生データ》

生データを
見える化しても
よく分からない



《データをグラフ化して指示書と重ねてみると》

指示書と
自社の基準

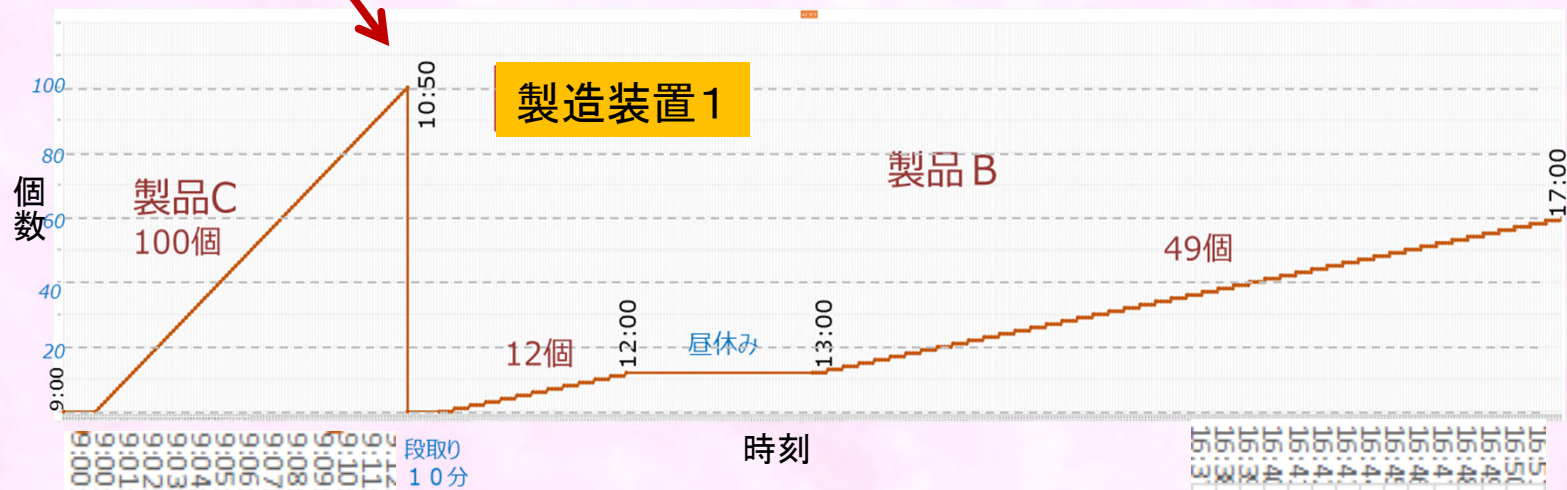
- ・生産計画値
- ・歩留まり率
(閾値)



その時の機械の調子
一日の機械稼働率
生産計画とのギャップの原因
改善点が見えてくる、

ギャップは？
その対策は？

(例) 実際の現場の機械の1日の動き イメージ



■ IoT導入支援のご案内

特定非営利活動法人モノづくり応援隊in大田区では、中小企業の現場の見える化に向けたIoTの研究をしています。本格的なIoT導入の前に、自社工場の現場がどう見えるかを試してみたい企業様は、是非ご相談ください。

モノづくり応援隊in大田区

第22回おおた工業フェアへ出展

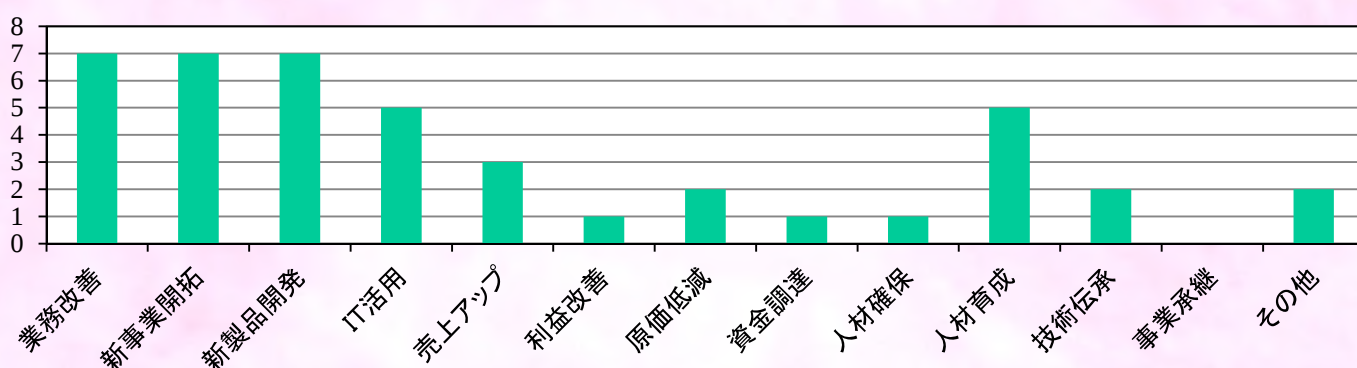
「NPOモノづくり応援隊in大田区」として出展

- ・開催期間:2018年1月31日(水)～2月2日(土)
- ・「ものづくり祭おおた～グループ・連携の力～」に参画して「おおたモノづくり連携の会」と共同で1ブース出展
- ・会員説明員延11名
- ・アンケート回収数:33枚(結果下記のグラフ)
- ・訪問アポ:3社



アンケート集計結果

IoTデモ



ITCA中小企業経営支援実践能力養成研修

ITコーディネータ協会より、毎年受託している事業で、今回で第5回目となります。

特定非営利活動法人 モノづくり応援隊 in 大田区が、10年間の活動実績で150社を超える企業支援を実施したノウハウをベースにした、実地研修です。

企業内ITコーディネータ及び独立系ITコーディネータの皆さんを対象に、支援経験豊富なベテラン支援者の指導のもと、実際に中小企業を訪問して経営者より直接経営課題をヒヤリングし、経営支援を行う実地研修となっています。

昨年に引き続き、以下の2コースで実施されました。

- ・独立系ITコーディネータコース
- ・企業内ITコーディネータコース

＜実施期間:2017年9月2日～2018年2月24日、6ヶ月間＞

＜研修受講生合計:4名、会員参加者合計:4名＞



法政大学MBA 中小企業診断士養成コース 経営診断実習の支援

TNMS経営戦略策定プロセス演習

開催日：2018年3月13日

場所：法政大学一つ坂校舎

参加者：18名

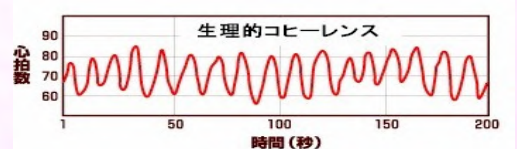
内容

- ・TNMSの概要説明
- ・TNMS演習の説明
- ・経営理念、経営戦略、機能別戦略の策定演習と発表
- ・クロスSWOT分析
- ・経営理念の策定
- ・経営戦略の策定
- ・マーケティング戦略の策定、業務プロセス戦略の策定
- ・発表会



中小企業の社内教育、パワーアップ支援

- ・問題解決法(仕事の仕方)、やる気向上、職場活性化、目標管理、集中・創意工夫。
- ・身心を整える健康経営など幅広く支援します。
- ・集中力向上により、正確な仕事、創意工夫ができます。
- ・集中し、ゾーンに入るには、簡単なマインドフルネス
- ・瞑想で脳の働きを鎮め、息を整えます。
- ・息を吸うとき拍動が速くなり、吐く時遅くなります。これは、自律神経や呼吸中枢の働き。この現象は緊張状態では起こりません。
- ・緊張状態では常に心拍数が高い状態であり、呼吸の状況による心拍の速さに差が生まれません。リラックス状態ほど、図のように心拍数の速さに大きな差が出てきます。これがリラックス状態、集中の指標として使われるようになりました。
- ・米国では企業、スポーツ界、学校などで広く使われています。
- ・心拍連続測定ソフトにより、心が鎮まった状況をパソコン画面で見ることができます。



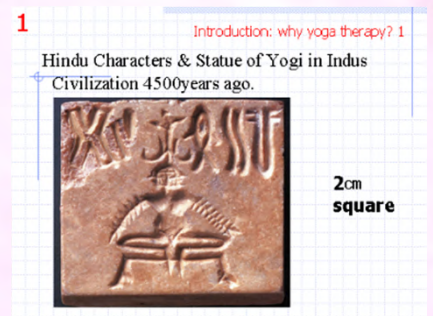
「いやしのヨーガ」参加者の中で、これまで10名、集中状態、ゾーンに入ることができる方が出ています。

- ・身体や息を整え心を鎮める方法、マインドフルネス瞑想を知って頂くため、「いやしのヨーガ」を毎月開催中。体験・見学できます。
- ・日時：毎月2回、水曜日午前、土曜日午後開催。（別途、ご希望の日時に企業訪問でのご説明も致します）

場所：「こらぼ大森」 東京都大田区大森西2-16-2

お問合せ・申込： ビジネスパワーアップ・ヨーガ研究会・ヨーガ療法士、企業社内教育経験者

杉岡 修次 電話・FAX：045-582-1145 メール：sugioka@earth.ocn.ne.jp



NPO モノづくり応援隊in大田区

会員連絡会

原則として毎月第2土曜日 15:00～17:00 こらぼ大森

各回の講演テーマ、講演者

・2017年4月

アジャイル生産管理システムについて

講師: 田中 宏和 会員

・5月 **SORACOMの紹介**

講師: 矢萩 昇太郎 会員

・6月 **大田区共同配送事業のご提案**

講師: ブラザーロジテック(株)

取締役総務部長 吉田 信人 様

・7月 **改定個人情報保護法について**

講師: 元村 憲一 会員

・8月 **中小企業のための医工連携と知財戦略**

講師: 講師: 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

知的財産部知的財産コンサルタント 神谷 直慈 様

・9月 **在宅療養患者用服薬ロボット『FUKU助』量産試作品の評価** 講師: 宮下 直樹 会員

・10月 **「インフォティス社の技術紹介」**

～家庭の入り口で電力を計測することによる「みまもりサービス」など～

講師: インフォメティス(株)

代表取締役 只野 太郎 様

・11月 **IoTプラットフォーム SORACOM**

講師: 矢萩 昇太郎 会員

・12月 **IoT／医療・SORACOM活用事例**

講師: 矢萩 昇太郎 会員

・2018年1月

IoTセンサー

講師: 名迫 和男 会員

・2月 **IoTセンサー**

講師: 名迫 和男 会員

・3月 **IoTの活用事例紹介**

講師: 名迫 和男 会員



**特定非営利活動法人
モノづくり応援隊in大田区**

<http://mono-ouentai.org>

事務局 info-oota@mono-ouentai.org

発行 2018年12月